

1 学力向上を図るための全体計画

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・東京都教育委員会の教育目標
- ・多摩市教育委員会の教育目標

各教科の指導の重点

- ・問題解決学習・体験的な活動を重視し、児童一人ひとりの良さや可能性を引き出し、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を養う。
- ・算数科では、少人数指導やピアティーチャーを活用した授業を行い、児童一人ひとりの個性や能力に応じた指導を行い、基礎・基本の力をはぐくむ。

総合的な学習の時間の重点

- ・多摩川の豊かな自然環境や歴史・文化に恵まれた社会環境を生かした体験的な活動を重視し、自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ・コンピュータの活用や図書室及び調べ学習室の活用、地域での調査活動を通して学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。
- ・地域の人々の協力による活動、異学年による活動等、多様な人との関わりを通してコミュニケーション能力を育て、自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする態度を育成する。

進路指導の重点

- ・児童自身の良さや可能性に気付かせる中で自己肯定感を味わわせ、自分の生き方考える素地を養う。
- ・家庭・学校・地域の一員としての役割を果たすことによって、学ぶことや働くことの意義を理解させる。

目標や課題に取り組み、やり遂げた満足感を味わわせ、将来の夢や希望をふくらませるとともにやり遂げようとする態度を育てる。

学校教育目標

人権尊重と社会貢献の精神を基盤とし、一人ひとりの児童が未来社会を担う心豊かな人間として成長することを目指す。

- 健康な子
- 思いやりのある子
- ◎ 自ら学ぶ子

学校経営方針

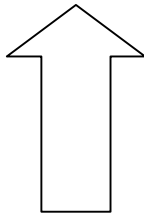
<児童の学力向上を目指して>

- ◎確かな学力の定着、向上を図る学習指導の改善・充実
- ・読む力、書く力、計算する力の確かな定着
- ・ねらいをしっかりと押さえた指導の徹底と教師の指導力の向上
- ・計画、実践、評価、振り返りに基づいた研究実践の積み重ね

本校における「確かな学力」

本校では、基本的な生活習慣・学習習慣の徹底を図り、学習指導要領に示された基礎・基本を重視する。その上で特に以下の力を育成する。

- 読む力、書く力、計算する力
- 自分で考え正しく判断し行動する力
- 互いのよさや思いを認め合える力



本校の児童の実態

- ・いろいろな面に子どもらしい興味・関心を示す。
- ・課題に対して前向きな姿勢で取り組むことができる。

道徳教育の指導の重点

- ・豊かな自然を生かし、自然を愛する心、生命を大切にできる心、そして豊かな感性等児童の内面に根ざした道徳性の育成を図る。
- ・誰に対しても温かい思いやりの心をもって接しようとする心情を養う。

特別活動の指導の重点

- ・学級や学校での生活で存在感や有用感をもち、生活の充実・向上を図ることができるように自発的、自治的活動を大切に指導を工夫する。
- ・異学年での交流活動を工夫して、集団生活の中で児童の豊かな人間関係をはぐくむ。

生活指導の重点

- ・あいさつや言葉遣い、清掃活動・時間の遵守等を重視し、児童一人ひとりが集団の一員としての自己実現を図ることができるようにする。
- ・望ましい集団の一員としての規範意識を養い、基礎的・基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・安全指導を徹底し、安全に対する意識の高揚を図る。
- ・特別支援教育を含めた教育相談機能を充実させる。家庭・地域・公的機関との連携のもと、児童一人ひとりの理解を深め、不登校を防止し、健全育成を図る。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の理解に応じて個別指導の機会を多くとり入れる。 ・算数科では3年生より少人数指導を行い、4年生からは習熟度別学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週時程を工夫し年間時数を確保する。 ・週2回、朝読書の時間を設定し、児童の読書量を増やす。 ・週1回、朝学習の時間を設定し、反復学習の時間とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一人ひとりが自分の授業改善プランを立てお互いの授業を参観しあい授業を改善していく。 ・校内研究では、毎回講師の指導を受け授業改善を図る。 ・校内研究では3回の研究授業を行い、実践力を養う。 ・児童理解のための全体研修や情報機器の活用力を高める研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画及び評価基準の見直しをする。 ・授業記録を通して児童の学習状況の適切な把握により児童一人ひとりの良さを引き出し、課題を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の教育活動を積極的に公開し、外部評価を真摯に受け止め改善する。 ・地域の教材を活用することにより学ぶ意欲、地域への関心・興味を高める。